

令和7年度



園だより 7月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきながらだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるこころとあたま

大切な人と自分を守るために

主任教諭 中村 咲希

先日『区立私立保育共同研修』に参加し、防災教育・防災対策について学んできました。

【問題】 まず、あなたにとって大切な2人を思い浮かべてください。

目の前には、あなたのとても大切なAさんとBさんが倒れています。

あなたはどちらか一人しか助けられません。どちらを助けるか30秒で決めてください。】

研修会の始まりに、このような究極の問題が出されました。私は「30秒でどちらかを選ぶなんて、そんなこと難しい…決められない」と考えていました。この「決められない」という答えは不正解でした。『どちらを助けるか決めることができた』『一人で二人を助けることができないと判断して他者に助けを求めようと考えた』など、瞬時に判断できることが緊急時や災害時には大切だということです。

時間・場所・危険なことはその時々で違いますが、限られた時間内で状況を把握して、判断をするこそが、緊急時や災害対応の大切なことだと学びました。

また、災害対応の絶対的ルールは「自分自身の安全が最優先」。6月6日の引取り訓練では、保護者の皆様にも服装や持ち物のご協力をいただきました。子どもたちの安全を守るために、私たち大人がいかに安全に行動できるか、自分の身を守ることができるかということが大切です。

災害時の訓練は避難訓練だけで身につくものではなく毎日の生活で身に付けていくことができます。

●お子さんの姿を思い浮かべてください。

- ・人の話を静かに最後まで聞くことができますか？
- ・名前を呼ばれたら、元気に大きな声で返事ができますか？



●大人の姿を思い浮かべてください。

- ・子どもに最後まで話を聞かせることができますか？
- ・子どもたちの名前を呼びながら、表情の確認ができていますか？



日頃から家庭や園生活で、きちんと話を聞くこと、しっかりと返事をすることができる子どもを育っていくことは、災害時や緊急時に自分と大切な人の命と安全を守ることにつながります。

災害はいつ起きるかわかりません。暑くなると熱中症の危険も高まります。水遊びやプール遊びは常に危険と隣り合わせです。ぜひ、ご家庭でも災害時や安全のための準備をしてみましょう😊

今年度は6月3日に杉並消防署をお迎えして、AEDの使用方法について職員研修を行いました。